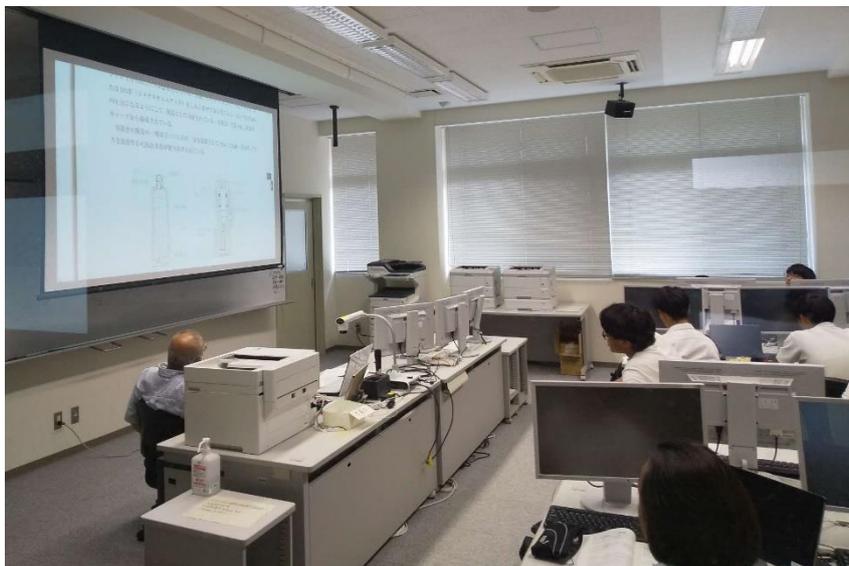


R6.7.26 機械科 ガス溶接技能講習を実施しました！

本校において、7月25日（木）は学科講習、7月26日（金）には実技講習を行いました。この講習



を受けて試験に合格すると、**可燃性ガス**を用いた溶接、溶断、加熱作業の業務に就くことが可能となります。**機械科の実習**では、電気をを用いた溶接は勿論、ガス溶接も行っていますので、**資格取得が幅広く**出来ます。

当日は**島根労働基準協会**さんのご指導の下、酷暑の中で頑張りました。溶接とは金属を溶かして接合する加工方法のことですが、**高温**の溶接炎が必要となります。そのため、アセチレンと酸素をトーチの中で混合し、燃焼させることで、**約3000℃**の炎を発生させます。非常に便利ですが、炎を直視しないように**保護メガネ**を付けて作業をします。また、燃焼ガスを取り扱うため、**法令や取り扱いの注意点**等をしっかりと学ぶことも必要です。

何ととっても醍醐味は**ガス溶断作業**です。溶接とは真逆の作業になりますが、**金属を溶かした後**、**高圧酸素**で吹き飛ばして切断するため、**ものすごく迫力**があります。溶けた鉄を吹き飛ばすと**火花が激しく飛散**します。生徒は**緊張の面持ち**で**真剣**に作業に取り組みました。

<実技講習の様子>

溶断作業



溶接器具の分解・組み立て

